2026 年 11 月 12 日

東急不動産株式会社

渋谷区、東急不動産及び RS ホールディングスが連携協定を締結

～国内外の企業・投資家との連携を通じ、渋谷区の都市価値向上、国際競争力向上を推進～

東急不動産株式会社（代表取締役社長：田中 辰明、以下、「東急不動産」）は、渋谷区及び RS ホールディングス株式会社（代表取締役社長：若林 要、以下、「RS ホールディングス」）と、渋谷区の都市価値向上及び国際展開に関する連携協定（以下、「本協定」）を締結しましたことをお知らせいたします。

本協定により、東急不動産は、渋谷区、RS ホールディングスと共に、国内外の企業、投資家等との連携のもと、まちづくり等のハード面及びスタートアップ、文化・コンテンツ等のソフト面の両面から渋谷区の都市価値の向上を図り、渋谷区の国際都市戦略の推進に向けて連携・協力してまいります。

1. 連携協定の背景と目的

広域渋谷圏は、ファッション・音楽・コンテンツ産業の発信地として世界的な知名度を有するとともに、スタートアップや IT 企業が集積するイノベーション拠点であり、緑豊かな環境をあわせ持つ職・住・遊が隣接する多様性あふれるエリアです。

こうした多様性がもたらす広域渋谷圏の強みをさらに発展させ、国際競争力を向上していくため、東急不動産ホールディングスは、昨年 5 月に発表した「中期経営計画 2030」の重点テーマの 1 つに「広域渋谷圏戦略の推進」を掲げています。中核会社である東急不動産は、都市開発等のハード面にとどまらず、広域渋谷圏の施設等において、カルチャーを牽引する様々なコンテンツの創造・発信、体験型イベントの開催や、都市メディアやデジタルを活用する「都市観光」、「産業育成」としてのあらゆるステータスに沿ったスタートアップのグローバルな支援や産官学連携のコミュニティ構築、防災や緑地の設置、快適性などのまちの基礎となる「都市基盤構築」を軸として、多様なステークホルダーとの連携を深めながら、個性豊かなエリア各地の魅力をさらに高め、まちのにぎわい創出を推進しています。

この度、渋谷区が有する都市としての魅力や産業基盤、また海外ネットワークに強みを持つ RS ホールディングスとの連携協定により、広域渋谷圏の発信力を活用した国内外の取り組みをさらに進めてまいります。

*広域渋谷圏：東急グループが渋谷まちづくり戦略において定める、渋谷駅を中心とした半径約 2.5ｋｍ圏内のエリア

２．連携協定の内容

(１)渋谷区におけるスタートアップの成長支援、国内外の企業・投資家等とのネットワーク形成及び海外展開

(２)国内外からの人材、企業及び資本の呼び込み並びに投資機会の創出

(3)渋谷区の文化、コンテンツ、都市ブランド及びまちづくり等を活用した都市モデルの国内外への展開、国際交流及び情報発信
(4)コンテンツ・ゲーム産業の振興並びに海外における新たな市場・地域の開拓及び事業展開に関すること
(5)クリエイティブテック分野における事業創出及び国内外の企業、投資家等との連携に関すること

■東急不動産株式会社

所　在　地	東京都渋谷区道玄坂一丁目 21 番 1 号 渋谷ソラスタ
代　表　者	代表取締役社長　田中　辰明
設　　立	1953 年 12 月 17 日
事 業 内 容	総合デベロッパー（都市開発事業、住宅事業、環境エネルギー事業、インダストリー事業、ウェルネス事業、海外事業、不動産ソリューション事業ほか）

■RS ホールディングス株式会社

所　在　地	東京都港区六本木 6-3-1　六本木ヒルズクロスポイント 6 階
代　表　者	代表取締役社長　若林　要
設　　立	2019 年 6 月
事 業 内 容	再生可能エネルギー発電事業、系統用蓄電事業、不動産ファンド事業、海外における再生可能エネルギーへの投資事業等、関連事業を営む会社の保有を通じたグループの統括・運営